

理容遺産に認定された「理容館アラタ」=大田市大森町



大田・大森「理容館アラタ」

理容遺産第1号に

木造2階建て約70平方メートルで、1927（昭和2）年に故荒田末市さんが理容店として開店。59年の末市さんの死去後は妻のトメヨさん（2008年死去）が80年代後半まで営業していた。

て80～90年前の理容店の面影を残すいすや手動バリカン、鏡などの理容道具を展示。観光客らに親しまれてゐる。和田信二社長(53)は「文化保存にかかわってきただことが評価され、うれしい。今後も保存に努める」と述べた。

全国の理容店経営者でつくる全理連は昨年、歴史的・貴重な理容施設や理容器具を後世に伝える目的で、入場無料。 営業時間は午前10時～午後4時。水、木曜日は定休。

認定全理大正時代の器具残る

三三

世界遺産・石見銀山遺跡の町並み保存地区（大田市大森町）にある「元理容店」「理容館アラタ」が、全国理容生活衛生同業組合連合会（全理連）から理容遺産第1号に認定された。大正時代の理容器具などが残っている点が理容文化を残す重要な施設として評価され

閉店後は末市さんの長男
耕造さん(79)が管理していく
たが、2008年から同市
の海産物販売会社「和田珍
味」が保存維持に協力。傷ん
だ部分を補修し、和田珍味
石見銀山店・理容館アラタ
として開店。自社製品を販
売している。

認定を受け耕造さんは
「残ってきて良かった。来場
者に当時と今の理容の違い

卷之三